

福祉情報 おきなわ

Vol. 123
2009.1.1

特集 ホントにおすすめの本

援助を深める事例研究の方法 対人援助のためのケースカンファレンス



図書情報
著者／岩間 伸之
発行所／ミネルヴァ書房
定価／2,310円(税込)

介護保険制度の導入に伴い、地域における保健・医療・福祉の連携が求められ、具体的な事例をめぐって多職種の関係者が検討の場をもつ必要に迫られています。本書は、広く対人援助にたずさわる人たちのための手引書です。

本書の特徴は、対人援助を深めるための方法として事例研究を位置づけた点にあります。徹底してクライアント(利用者)の側に立つこと、そして「人を援助すること」の奥の深さを事例研究の方法を通して伝える内容となっています。

支援困難事例へのアプローチ



図書情報
著者／岩間 伸之
発行所／メディカルレビュー社
定価／1,890円(税込)

本書は、支援困難事例に対する専門的な援助の視点と方法をまとめたものです。保健・医療・福祉等にたずさわる専門職であるならば、日常的に支援困難事例への対応に苦慮し、思い悩んだ経験があるでしょう。全講にわたって、対人援助の価値や原理・原則を支援困難事例に向けてどのように応用し、展開していくかに焦点を当てた内容となっています。クライアント本人へのアプローチから新しいシステムの形成に向けて展開できるように構成しており、関心のあるテーマから読んでいただけます。

ご注文は沖縄県社協総務部図書係まで TEL: (098) 887-2000

第35回芸能の夕べを開催

県社協では「社会福祉活動資金づくり・第35回芸能の夕べ」を左記のとおり開催します。皆様のご来場をお待ちしております。お問合せは県社協総務部まで。



寄付・寄贈者芳名

(10月8日より12月9日まで)
● JTB協定旅館ホテル連盟沖縄支部・JTBレキオス会様 ● 全国消防職員協議会九州地区連絡協議会 ● 沖縄県かりゆし長寿大学14期生いきいきクラス一同様 ● 富国生命保険相互会社
● 沖縄支社様 ● 沖縄県医薬品卸業協会様
● 沖縄県生麺協同組合様 ● 株式会社サンレー様 ● 国和会様 ● 稲嶺盛福様 ● 赤嶺琢様

▼日時 2月15日(日) 17時30分開場 18時開演
▼開場 沖縄コンベンションセンター劇場棟
▼協賛 沖縄新進芸能家協会、都山流尺八楽会沖縄支部、西川流沖縄支部、生田流箏曲沖縄紫会
▼入場料 1枚1,500円

目次

- 2 特集「福祉サービスの苦情解決」
- 4 新年のごあいさつ
- 6 共同募金会より
- 7 シリーズ活動最前線
- 「命と宝・命のゆいまる」プロジェクト

- 8 ほっとニュースTOPICS
- 10 かりゆし長寿大学校募集について
- 12 人材育成のポイントは職場研修にあり
- 14 県民協広報「くちらじや」
- 16 インフォメーション



いしき きしゅう
伊敷喜昭さんの作品「美人美人」

表紙の絵



いしき きしゅう
伊敷喜昭さん

伊敷喜昭さんは、小さい頃から絵を描くのが好きだったと話された。小学生のときには展覧会に出展したこともあるという。現在は、「ボケ防止のため」に、家で空いている時間を見つけて意欲的に制作を続けている。作品の一部は、伊敷さんが通われている「いとまん指定通所介護センター」内にも展示されており、利用者や職員の間で楽しませている。

伊敷さんの作品は、植物や浮世絵、風景画など多岐にわたる。完成した絵は一度家で飾り、次回の作品作成に向けて独学で勉強していると話された。

編集後記

旧年は、沢山の方の協力を得て、広報紙「福祉情報おきなわ」を無事定期発行する事ができました。ありがとうございました。今年も皆様に様々な情報を提供できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部として共同募金配分金を使用させていただいております。

編集・発行

沖縄県社会福祉協議会 沖縄県福祉人材研修センター
沖縄県共同募金会 沖縄県民生委員児童委員協議会

〒903-8603 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1(沖縄県総合福祉センター内)
TEL.098-887-2000 FAX.098-887-2024 <http://www.okishakyo.or.jp/>

福祉サービスの苦情解決

福祉サービス運営適正化委員会

福祉サービスを安心して利用できるようにするため、施設や事業所は利用者からの意見・要望・苦情の適切な解決に努めることとされています。また、社会福祉法にも基づき、沖縄県社会福祉協議会の中に、「沖縄県福祉サービス運営適正化委員会」(以下、運営)を設置し、中立・公正な立場で福祉サービスの苦情解決事業を行っています。制度発足から9年目を迎える、本事業を紹介します。

福祉サービスの苦情解決とは

福祉サービスは、そのサービスの利用者と提供する事業者の契約に基づいて行われます。社会福祉法の基本理念である「個人の尊厳の実現のためには、利用者保護の仕組みを整える必要があることから、福

祉サービスの苦情解決」が位置づけられました。

福祉サービス事業者は常に、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならないものとされ、苦情解決を通して、サービスの改善や職員の資質向上、利用者の顧客満足を目指すことを目的としています。

アンケート結果ダイジェスト

- 苦情解決責任者の設置率 96.8% (前年比1.8ポイント増)
- 苦情受付担当者の設置率 97.4% (同0.8ポイント増)
- 第三者委員の選任率 83.7% (同2.0ポイント増)
- 苦情解決に関する規程等の整備率 81.7% (同1.8ポイント増)
- 第三者委員の設置形態 「法人単位で設置」54.2%で最多
- 第三者委員の活動状況 「定期的な聞き取り」31.9%で低調
- 1年間の苦情受付件数合計 1,285件 (前年比18件増) 「実績あり」45.8%
- 苦情内容別の内訳 「職員の言動・態度」19.1%で最多 「施設等の整備」12.9%

事業所段階での苦情解決

福祉サービスの苦情解決は、第一義的には、提供される事業所段階での解決を目指すものです。そのために、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を選任し、「苦情解決規程」といった一定のルールに基づいて対処する仕組みとなっています。

運営が、今年7月に県内の福祉施設や事業所、社協を対象に実施したアンケート(有効回答数535)によると、苦情解決責任者の設置率は、96.8%、苦情受付担当者97.4%となつています。また、第三者委員の選任率は83.7%、苦情解決規程等の整備率は81.7%です。これらは昨年度の数値と比較していずれも高くなっています。今後は、第三者委員の選任率と規程等の整備率の向上を図ることが課題となつていきます。ちなみに、平成19年度に事業所段階で受け付けた苦情件数は1,285件(前年比18件増)となっています(上段枠内参照)。

運営では各事業所での苦情解決を促進するための事業(支援)を実施しています。(下段枠内参照)

事業者の皆様へ

運営では苦情解決の推進に向け、様々な支援を行っています。

◎ポスターの配布



事業所に掲示する苦情解決ポスターを無料で配布しています。苦情解決責任者等の氏名を記載することが出来ます。ご用命の際は、事務局までお問合せください。

◎研修会等の開催



苦情解決の意義や対応のポイントを学ぶ「苦情解決セミナー」等の研修会を毎年、開催しています。

また、事業所等からの要請に応じ、運適の職員による出前講座を実施しています。出前講座については、事務局までお問合せください。

◎巡回訪問の実施

苦情解決の仕組みの整備や運営状況の確認と、情報提供を目的に、県内の福祉施設・事業所を対象に、巡回訪問を実施しています。

利用者の皆様へ

福祉サービスに関する意見・要望・苦情は、まずは、各福祉施設・事業所の苦情受付窓口または、第三者委員へご相談ください。

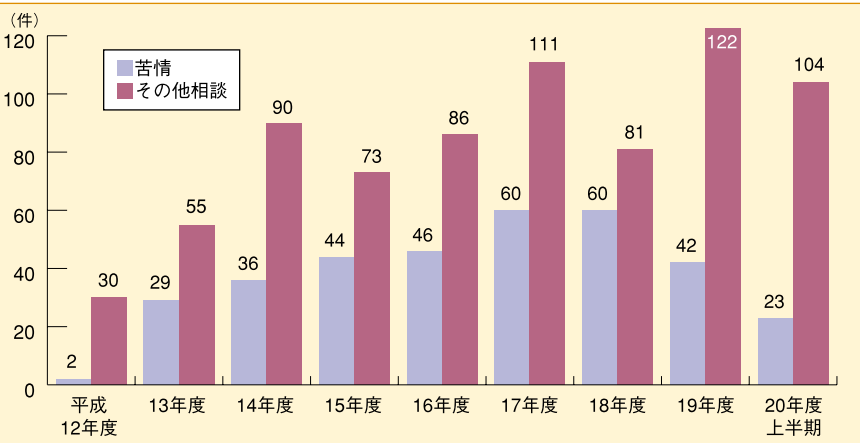
運営適正化委員会の窓口開設時間は、月々金曜(年末年始、祝祭日・慰霊の日等をのぞく)午前9時から午後5時までとなっています。

電話098(882)5704

されます。「苦情は利用者の声」ですから、苦情をゼロにすることが目的ではなく、寄せられた苦情等に迅速・丁寧に対応し、不満を残さないようにすることが大切です。

運営適正化委員会

当事者同士による解決が困難な場合や、直接、事業所に申し出しにくい場合等に苦情相談を受け付ける機関として、各都道府県社協内に「運営適正化委員会」が設置されています。



「苦情」および「その他の相談」受付件数の推移

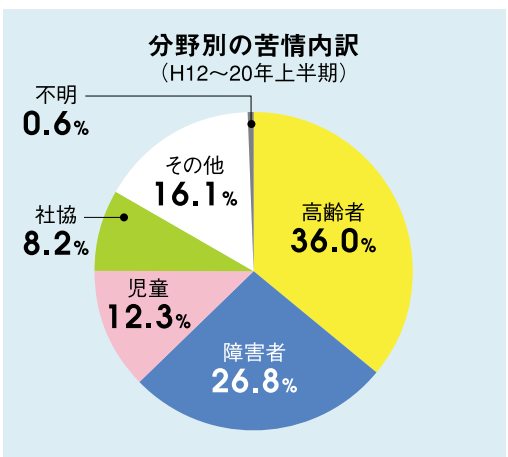
運適による苦情・相談の受付

運適が発足した平成12年度から平成20年度上半期までの苦情の受付件数は延べ342件で、苦情に至らない「その他の相談」は延べ752件となっています。

年度別の推移を見てみると、苦情件数は、平成19年度に初めてマイナスに転じましたが、その他の相談件数が大幅な増加傾向にあります。(棒グラフ参照)。要因としては、各事業所段階での苦情解決体制が整備されてきたこと、一方で、福祉制度等に関する相談ニーズが増加してき

運適では、弁護士や医師、学識経験者等で構成される8名の委員が苦情解決への対応を行っています。相談は来所、電話、FAXや電子メール等で受け付けています。相談に関する秘密は厳守されるほか、匿名による相談にも対応しています。ただし、事情調査など、事実確認を要する場合は、匿名での対応が困難になることがあります。

運適が対象とする福祉サービスは第1種・第2種社会福祉事業を中心とするものです。対象外の相談や内容によっては、他の専門相談を紹介することがあります。また、虐待等のおそれがある場合は、速やかに県知事に通知することになっています。



たことが想定されます。分野別で見ると、「高齢者分野」が36.0%で最も多く、続いて「障害分野」26.8%、「児童分野」12.3%となっています。(円グラフ参照。)

「苦情」のイメージを新しく

意見・要望も苦情も、利用者が事業者に対して、対応を希望して発した言葉であることに違いはありません。苦情があがるということは、裏を返せば、事業者に期待や信頼を寄せている証拠でもあります。苦情に対してプラスイメージをもつことが大切です。よく、「うちの施設では苦情は1件もありません」という言葉を耳にしますが、利用者が要望や苦情等を言い出しにくい環境にあったり、苦情等に積極的に耳を傾けていなかったりすることも想定

新年のごあいさつ

沖縄県社会福祉協議会
沖縄県共同募金会
会長 新垣 雄久



新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春を、お健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、世界的な金融不安に端を発した不況の進行や物価高騰による生活必需品の値上げなど、国民生活に大きな影を落とした年でもありませんでした。

また、近年、生活環境の変化や地域の連帯意識の希薄化等により、既存のサービスだけでは解決できない生活不安を抱えた人々が増えており、高齢者や障害者の自立支援、権利擁護、災害時の要援護者支援等への取り組みの強化が急務となってきました。

こうした中、厚生労働省の「これらの地域福祉のあり方に関する研究

会」が発表した報告書においては、地域福祉の推進は住民と行政が協働で行う活動として明確化され、地域における「新たなささえ合い」いわゆる「共助」の仕組みづくりの拡大・強化が強調されているところであります。

沖縄県社会福祉協議会では「杜協における権利擁護システムに関する調査研究委員会」を立ち上げ、二一ズや効果、実施内容全般にわたって実態調査を行い各関係機関へ提言をすることともに、災害時支援においては、沖縄県民生委員児童委員協議会と連携して要援護者の把握や支援のあり方について協議を重ねてまいりました。

新年は、これらの成果を踏まえ県民一人ひとりが共に支え合い、安全で安心して生活することができる地域社会の実現を最重要課題として取り組んでまいります。

年の初めにあたり、県民の皆様のおますの御健勝と御多幸をお祈り申しあげますとともに社会福祉に対するなお一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成21年元旦

沖縄県功労者表彰・秋の叙勲 厚生労働大臣表彰受章者の紹介

【沖縄県功労者表彰】

(地方自治功労)

新垣 雄久氏

(沖縄県社会福祉協議会・沖縄県共同募金会 会長)

沖縄県副知事として第2次沖縄振興開発計画を推進し、諸施策の確実な展開を図り、本県の自立発展に向けた基盤整備に尽力するなど、本県の振興に貢献された。

(社会福祉功労)

仲里 文江氏

(那覇市社会福祉協議会福祉相談室 相談員 多年にわたり福祉委員、民生委員児童委員を務め、困っている人たちのもつとも身近な相談者として献身的な活動が続けるとともに、後輩の育成にあたるなど、本県の地域福祉の発展に貢献された。)

【秋の叙勲】

瑞宝双光章(社会福祉功労)

神谷 幸枝氏

(特別養護老人ホーム大名 施設長)

瑞宝単光章(社会福祉功労)

島袋 富士子氏

(元民生委員・児童委員)

宮里 留美子氏

(元糸満市立川尻保育所長)

【厚生労働大臣表彰】

安里 嗣昌氏

(那覇市民生委員・児童委員)

上地 清子氏

(那覇市民生委員・児童委員)

照屋 照子氏

(那覇市民生委員・児童委員)

知名 晶子氏(首里厚生園寮母)

仲山 洋子氏(首里厚生園寮母)

入米藏あき美氏(首里厚生園寮母)

我如古 弘子氏(善隣福祉会理事)

西里 博吉氏

(宮古福祉保健所福祉班長)

玉城 讓治氏

(身体障害者更生相談所相談判定班長)



▲沖縄県功労者表彰式典の様子

生活福祉資金貸付制度

〔療養・介護等費(介護等費)の紹介〕

本制度は、低所得世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対し、民生委員の援助指導のもと必要な資金の貸付を行い、世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れることを目的としております。必要に応じて様々な資金種類がございますが、今回は「療養・介護等資金(介護等費)」についてご紹介いたします。

※ご相談については、お近くの民生委員、または市町村社協へお問い合わせ下さい。

療養・介護等資金(介護等費)	
主な使途内容	介護サービスや障害者サービス等を受けるのに必要な経費
対 象	低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯
貸付限度額	170万円
据置期間	6ヶ月以内
返済期間	5年以内
連帯保証人	1名必要
利 子	無利子

★審査によりご希望に添えない場合があります。又、審査内容についてはお答えできません。

事例紹介

「段差解消で住みやすく」

- 世帯構成(2名世帯)
Aさん 70歳
妻 69歳
子 48歳(別世帯)
- 借入額(約35万円)
- 返済回数・月額(36回/約10,000円)
- 貸付内容

Aさんは奥さんと2人で、介護保険サービスを利用しています。これまでは何事もなく過ごしていましたが、最近になってAさんが、歩行に難が出てきたため、家の中の段差が問題となりました。そこで介護支援専門員の方に相談すると、介護保険にて住宅改修のサービスがあるとわかりました。しかし、その場合、一度費用を全額負担してから後にサービス分の費用が戻ってくるということでした。2人とも年金のみの収入で、子にも相談しましたが工事費用が準備できず悩んでいました。すると、介護支援専門員に生活福祉資金制度のことを教えてもらい、近くの社会福祉協議会へ相談したところ、介護等費にて申込が可能だとわかりました。2人は高齢のため、返済には不安もありましたが、子も協力すると申し出があり、連帯保証人として一緒に申込をし、無事に借入れができました。改修工事も終わり、段差をなくしたことで歩行がしやすくなりました。戻ってきたサービス分の費用を返済にあて、その後、自己負担分の金額を順調に返済しています。

※この事例は、「生活福祉資金事例集(平成15年)」全社協を参考に作成しました。

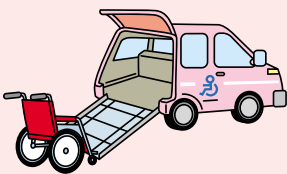
「突如ショッピングセンターに…」

見たことの無い道具?が、いっぱい並びました。

去る10月26日(日)にサンエー那覇メインプレイス様のご協力により、「ミニ介護体験と福祉用具展示相談」を開催しました。沖縄県介護実習・普及センターが『ミニ介護体験』を、沖縄県福祉用具事業者協議会は『福祉用具の展示相談』を担当しました。

実際に福祉用具を初めて見て・触れて・体験できるため驚く方や、新しい発見をされた方、介護相談をされる方もいらつしやいました。ショッピングセンター等での開催は初めてでしたが、来店されるお客様は、福祉(介護)に関心はあるがどうしたらいいのかわからない様子でした。これを機に地域密着で展示相談・講座を行っていきたいと思います。

最後に、ご協力戴きましたサンエー那覇メインプレイス様、沖縄県福祉用具事業者協議会様ありがとうございました。



「八丈島」と関係が…?

「南大東島研修報告」

「ご存知でしたか?南大東島が『八丈島』と関係が深いことを…。南大東島で開催した講座で私は、そのことを知りました。」

11月19日に『高齢者住宅の改修研修』を、20日に『在宅介護教室』『介護技術向上実務者研修』を開催しました。

住宅改修の講座の中で、沖縄本島と大東島の生活習慣と住宅事情の違いが取り上げられました。一例として、入浴の時、湯に浸かる率を比較してみました。さて、問題です。「本島と大東島、どちらが入浴時湯に浸かる率が高いでしょうか?」考えてみてください。

その土地の歴史と住宅事情を踏まえた講義に多くの参加者が楽しく学び、無事に終了することができて感謝です。

お問い合わせ
沖縄県介護実習普及センター
電話 098-882-1484
FAX 098-882-1486

共同募金会より

中央競馬馬主社会福祉財団助成金 平成20年度1680万円決定

平成20年度中央競馬馬主社会福祉財団助成金決定通知伝達交付式が、平成20年10月27日(月)に那覇市首里にある沖縄県総合福祉センターで行われました。

本県の今年度の助成金は、5団体に総額1680万円が決定し、県共募新垣雄久会長より各団体の代表者へ決定通知書が手渡されました。また、5団体の代表として友和福祉会(ハッピーネス保育園)吉本園長よりお礼のあいさつを述べました。

中央競馬馬主社会福祉財団の助成金は、中央競馬の馬主達が自分達の



▲平成19年度伝達式の様子

平成20年度中央競馬馬主社会福祉財団助成金決定一覧表

法人名(施設名)	事業名	助成金額
(福)翠泉会 (老人短期 羽地苑)	崖崩れ防止工事	5,000千円
(福)伊集の木会 (知的障害者授産 那覇学園)	エアコン取替事業	2,700千円
(福)友和福祉会 (保育園 ハッピーネス保育園)	保育園増築工事	5,000千円
(福)たまん福祉会 (知的障害者授産 たまん)	屋上補修工事	1,100千円
(福)おきな福祉会 (知的障害者更生 石水の里)	移送用マイクロバス整備事業	3,000千円
合 計		16,800千円

手で目に見える形で社会福祉の発展に貢献し、併せて競馬に対する社会の認識を高めることを目的として、競馬の賞金の一部を自主的に拠出することにより、昭和44年10月に財団法人として設立され、全国の民間社会福祉施設等に助成金を交付しています。

シリーズ 活動最前線

「命どう宝・ 命のゆいまーる プロジェクト」

命を救うための講習会

今回は、沖縄本島を活動拠点として、県内離島で救急法の講習を無償で行っている「命どう宝・命のゆいまーるプロジェクト」(以下「命どう宝」)の勉強会へお邪魔した。

「命どう宝」は、県内の常設消防署が無い離島地域において、救急法(心配蘇生法やAEDの使用方法等)の講習会を行っているボランティア団体である。沢山の有人離島を抱えている沖縄県だが、小さい島の多くは「常設の消防署がない」、「診療所があっても、医師1人看護師1人で対応している」など、なかなか救急法の講習会が行われる事は少ないのが現状だという。しかし、「そういう離島でこそ、緊急時に地域の住民が対応できることが必要でないか」とお酒の席で議論が白熱し、立ち上がったボランティア活動が「命どう宝」である。

お酒の席で考案された企画だが、「活動は真面目です」と高良剛口ベルト医師(沖縄県立中部病院)が話すとおり、平成20年11月末までに、医師や看護師、消防隊員など、約70人の医療関係者が、講習会に参加し

た。今まで阿嘉島、座間味島、黒島や波照間島など14の離島で22回の講習会を行った。平成15年の活動当初は、講習会の受け入れ先が無く、しばらく活動をしたと思っていたが、徐々に出来ない状態だったというが、徐々に活動が認知されてきて活動の場も広がってきた。

現在、団体では月1回定期的に勉強会を行い、医学知識があまり無い住民にも、救急法を正確にそして解りやすく説明するため、活発な情報交換がなされている。勉強会に参加していた看護師の上野智子さんと後藤絵梨さんは「講習会に参加した事で、離島医療の現状を知った。」「住民へ指導・説明する立場になり、緊急医療の勉強をもう一度やり直した。」「離島医療を今後の選択肢の一つとして考え始めた」と話された。



▲実際の講習会の様子

愛ちゃんと希望くん



©中央共同募金会

ありがとうメッセージ

- 団体名/日本てんかん協会
沖縄県支部(うるま市)
- 事業名/第34回全国大会派遣事業
- 配分額/80,000円

第34回全国大会が「てんかんと向き合う日々」に活力を！テーマとして、愛知県で開催され沖縄県支部から2名参加しました。

11/24から、開会式・医療講演会・交流会で1日が終了しました。2日目の11/25は、各分科会が行われ、その中で討論会や日本てんかん学会医師の講和等、最新情報や今後の展開等が聞けてすばらしい大会でした。今後、各支部での勉強会を実施したいと思いました。

会として、共同募金配分金が利用できた事は、大変ありがたいと思います。



- 団体名/のびる福祉作業所(名護市)
- 事業名/配用バイク整備事業
- 配分額/190,000円

沖縄県共同募金会より、配分金を受けて私達のびる福祉作業所は、作業の基盤整備を行うことが出来、所員及び職員・保護者は感謝の念に堪えません。

少しでも、所員の給料のアップにつながりますよう、全員で力を合わせて仕事に励み、県民の善意の有難さを認識して、購入した備品を大切に、最大限の効果が出来ますように頑張りたいと思います。感謝の気持ちを忘れずにつぎ進んでいきます。全員より有難うの気持ちです。



安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を補償



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震等天災によるケガも補償(天災タイプ加入の場合)

保険料(掛金) Aプラン 260円 Bプラン 420円 Cプラン 590円
天災危険補償タイプもあります。

お申込み、ご照会、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区麹町3丁目3番2号 新麹が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

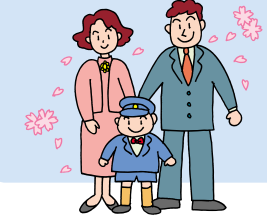
http://www.fukushihoken.co.jp

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

【全国一律のサービス】

職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝い品 贈呈 //
- 資格取得記念品 //
- 出産お祝い品 //
- 永年勤続記念品 //
- 入学お祝い品 //



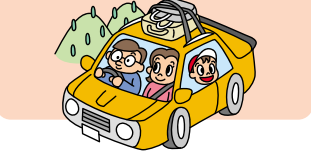
職員の健康管理について

- 健康生活用品給付
- 電話健康医療相談
- 生活習慣病予防検診費用助成
- スポーツクラブ



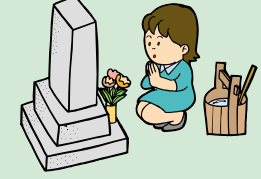
職員のリフレッシュのために

- 指定保養所・会員制リゾート施設
- 海外リフレッシュツアー
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク 割引
- レンタカー //
- 国内・海外旅行 //
- 全国提携宿泊施設



職員の万が一に際して

- 会員死亡弔慰金
- 入院・手術見舞金
- 高度障害・後遺障害見舞金
- 災害見舞金
- 配偶者死亡弔慰金



魅力ある職場づくりにソウェルクラブがお役に立ちます。会員へ様々なサービスを提供しています。

♪ソウェルクラブだから
こんなにサービスがある♪

職員の資質向上のために

- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会
- 海外研修



職員の生活面をサポートするために

- 特別資金ローン
- 特別提携住宅ローン
- クレジットカード
- ソウェル積立保険
- ソウェル団体生命保険
- ソウェル傷害保険
- ソウェル入院保険
- ソウェルがん保険
- ショッピング
- スポーツ・カルチャー

※申請漏れはありませんか？まだの法人・事業所はお早めに!!

【沖縄県独自のサービス】

☆同じ福祉の職場で働く仲間との交流を図るために☆

ソウェルクラブおきなわ会員交流事業

- 旅行への助成
- コンサート・ミュージカル・スポーツ観戦等への助成
- チケットの配布(映画鑑賞券等)への助成
- パソコン講習会の開催
- 入学祝金贈呈事業(離島のみ対象)



加入申込み
お問合せは

沖縄県福祉人材研修センター
ソウェルクラブおきなわ事務局

☎098-882-5703 (担当:渡嘉敷)

福祉の職場

福祉の就職総合フェア 2009

説明面接会

一人ひとりへのやさしさと思いやりが身につく仕事です。

参加費 無料

平成21年 1月15日

場 所 沖縄コンベンションセンター(展示場)

受付開始 12時30分(受付終了15時30分)

開催時間 13時~16時

※当日は人材研修センター・名護市福祉人材バンク内での無料職業紹介事業はお休みいたします。

参加対象

- 福祉職場へ就職を希望される方
- 各学校の進路指導担当者・就職担当者
- 社会福祉施設・団体等

参加方法

- 当日直接会場にお越しください。

内 容

- 求人施設面談コーナー
就職希望者が福祉施設の採用担当者や面接できます。
- 各種相談コーナー
ハローワークコーナー・ナースセンターコーナー
各種職能団体コーナー・総合相談コーナー

お問い合わせ先

沖縄県福祉人材研修センター

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1(沖縄県総合福祉センター内)

TEL (098) 882-5703 FAX (098) 886-8474

E-mail jinza@okishakyo.or.jp URL http://www.okishakyo.or.jp

主 催 沖縄県・沖縄県社会福祉協議会・福祉人材研修センター・名護市社会福祉協議会・福祉人材バンク

後 援 沖縄労働局・ハローワーク(公共職業安定所)・沖縄県看護協会・沖縄県介護福祉士会・沖縄県社会福祉士会・沖縄県精神保健福祉士協会・沖縄県理学療法士会・沖縄県作業療法士会・沖縄県言語聴覚士会



▲表彰式の様子

～支え合いと協働で、地域の福祉力を高めよう～ 第51回沖縄県社会福祉大会

第51回沖縄県社会福祉大会(沖縄県、県社協、県共募の主催)は、10月28日(火)、沖縄コンベンションセンター劇場棟において、1,300人余の福祉関係者の参加を得て開催された。

式典では、主催者を代表して新垣雄久・大会長の式辞、県知事(代読)・仲里副知事が挨拶し、県知事と大会長から、多年にわたり社会福祉の発展に功績のあつた個人・団体(208人、6夫妻、16団体)への顕彰が行われた。その後、来賓を代表して、玉城義和・



県議会議長・宮城篤実・県町村会長が祝辞を述べられた。大会宣言として、地域住民のつながりの再構築と、住民と行政の協働活動による支え合いの仕組みづくりにより、一層取り組むことが採択された。

式典の後、「メタボリックシンドロームから腎臓病・心臓病へ：沖縄の危機」と題し、医療法人秀明会田仲医院長の田仲秀明氏に記念講演をいただいた。講演では、長寿県と知られていた沖縄県が、2002年12月に発表された平均寿命において男性が26位へ下落した背景や原因、そしてメタボリックシンドロームと県民の生活習慣がどのように密接に関わっているのかを丁寧に説かれ、沖縄、日本全体の危機を予見され、生活習慣病(肥満予防)や禁煙運動、健康長寿日本一を取り戻すための最大の力は医療ではなく教育であると、その重要性を喚起された。参加者からの活発な質疑応答もあり、関心の高さが伺えた。

就業体験を通して

鏡が丘養護学校 高等部3年 大城 葵

私は一週間沖縄県社会福祉協会で実習を行い、一週間6つの部署でいろいろな業務を体験し、福祉について学ぶことができました。

私は実習に来るまで「社会福祉協議会」がどのようなものなのかあまりわからなかったのですが、各部署の担当者の方から社協についてや、業務説明を聞き「社会福祉協議会」がどのようなものなのかを知りたい機会となりました。また、業務体験では、各部署で様々な役割があり、一つ一つの作業は単純でも量が多い仕事もあるため、少し大変な部分もありましたが、担当者の方が優しく教えてくれたのでコミュニケーションをとりながら楽しく仕事をこなすことができました。

高校を卒業し短大に行き、将来は何らかのかたちで福祉関係の仕事に就いて、私と同じように障害を持った方々が暮らしやすいように同じ立場からみていろいろな足りない部分をすこしでも改善できたらいいなと考えています。とてもいい経験になりました。また何か機会があればよろしくお願いします。

インターンシップ (就業体験)受け入れ

沖縄県社会福祉協議会では、11月10日から21日の間の計7日にわたり、就業体験実習生を受け入れました。

実習生の大城葵さんには、就労に必要な基礎的な知識や、福祉職に対する理解を深めるため、地域福祉部を主体に5つの部署での業務を体験してもらいました。体験を通して、仕



▲作業中の大城葵さん

事内容、職場の雰囲気などを知ってもらえたと思いますが、受け入れ側としても体験生から刺激を受け、得るものも多くありました。

「ねんりんピック鹿児島2008」

～沖縄県から選手団103名が参加～

「かごしまで 元気・ふれ合い・ゆめ噴火」をテーマに、第21回全国健康福祉祭かごしま大会（愛称：ねんりんピック鹿児島2008）が、平成20年10月25日（土）から、10月28日（火）の4日間、鹿児島県で開催されました。

本県は、今回の大会に選手役員総勢103名の選手団を派遣し、卓球、テニスなど16種目の競技に参加しました。大会期間中は概ね天候にも恵まれ、グラウンド・ゴルフ競技では本県選手が287人中9位に入賞した他、民謡交流大会でも審査員特別賞を受賞するなど日頃の練習の成果が十分に発揮された結果となりました。

また、ねんりんピック関連イベントとして開催された美術展においては、本県から5部門（日本画、洋画、工芸、写真・書）に10点の作品を出展し、洋画の部で高良幸子さん（宜野湾市・89歳）が最高齢者賞を受賞しました。



今大会では競技以外にも全国の選手や地元ボランティアとの交流が数多く見られました。その交流活動の一環として行われたのが、一校一県交流運動でありました。これは、鹿児島県内の小学校が参加する都道府県・政令指定都市ごとにそれぞれ応援団（さくらじまんキッズ）を組織し、総合開会式において選手団との交流を行うもので、本県選手団の応援には大口市立山野小学校の生徒約50人が駆けつけてくれました。生徒達は、沖縄の方言や歴史について選手に質問するなどさわやかな交流の輪が広がりました。

～若さあふれるハッスルプレーが続出!～

沖縄県 かりゆし長寿大学校 大運動会開催

去る11月23日（日）沖縄県総合運動公園レクリエーションドームにて第17回かりゆし長寿大学校大運動会が開催されました。

いきいき、ふれあい両クラス総数150名余り（平均年齢68・6歳、最高齢80歳）の学生の皆さんが参加し、6チームに分かれて各種目に汗を流しました。

「スプリンレース」、「グラウンド・ゴルフ競争」、「大玉転がし」の他、ソフトバレーボールをお互いの顔に挟んで運ぶ「ほほ寄せて」や「フォークダンス」等、学生一人一人が童心に戻ってイキイキとした表情で運動会を楽しんでいました。

また今回は、最後の種目を終えたあ

“シニアライフセミナー”

【受講生募集のお知らせ】

入場
無料

- 【日時】平成21年2月18日（水）
18時開場 18時30分開演
- 【場所】パレット市民劇場（那覇市・パレットくもじ9階）
- 【演題】「七転び八起き私の相撲人生」
～人間の生き方を考える～
おくるま こういち
- 【講師】尾車浩一氏（元大関琴風 相撲解説者）
- 【申込方法】平成21年2月10日（火）までに下記あて電話
またはFAXにてお申し込みください。
- 【お問合せ】沖縄県社会福祉協議会・いきいき長寿センター
【TEL】098-887-1344 【FAX】098-887-1349

●プロフィール

元大関琴風。1957年三重県津市生まれ。1971年名古屋場所にて中学生力士として初土俵をふみ、世間の注目を浴びる。1977年初場所で大新入幕を果たし、20歳で関脇となる。左ヒザの故障で一時は幕下三十枚目まで転落するも不屈の闘志と精神力から関脇へ返り咲き、その後もケガに悩まされながらも、1981年の秋場所で初優勝し大関に昇進する。角界の地獄を2度味わい、意地と努力で大関まで登り詰めた、心・技・体を極めた角界の範。現在は尾車部屋を開き、後進の指導・育成にあたる。大相撲の解説者としても幅広く活躍中。



と各賞の発表を前にして、急遽チーム単位の応援合戦が行われ、それぞれのチームが自分達の熱意をアピールして運動会を盛大に締めくくりました。

今年の運動会もかりゆし長寿大学校同窓会の皆さんがボランティアで多数参加し、大会運営に協力いただきました。ありがとうございました。

いきいきライフ セミナー開催

去る11月13日（木）中城村安里の吉の浦会館にて、いきいきライフセミナーを開催しました。『「食育」と「貯筋」健康おきなわ2010を考える』と題した、てるや整形外科院長照屋勉先生の講話と高齢者の健康づくりに適したニユースポーツを行いました。

講話では「肥満割合全国一」の沖縄県民の栄養改善と運動の大切さを先生ご自身の体験談を交えながら話されました。また、ニユースポーツの紹介ではバタンク、ゲールボールゲームを体験していただきました。参加された皆さんは普段、公民館等で地域のリーダーとして活動している方々ということもあり、初めて行う種目にもかかわらず上達も早く、プレーを楽しんでいました。

セミナー修了後、参加者の皆さん

は講話で得た

知識と、習得し

たニユースポ

ーツを今後の

公民館活動に

取り入れたい

と話しており

ました。

～生きがいと健康づくりそして地域活動～

沖縄県かりゆし 長寿大学校

平成21年度
第19期生
学生募集

受付期間 2月23日から3月6日まで

- 応募資格 県内に居住し、平成21年4月1日までに満60歳に達している者で、学習意欲があり、当大学校に通学可能な者
（※当大学校の卒業生は除く。）
- 定員 160名（男性80名・女性80名）
（※但し、定員を超える申込のある場合は抽選により決定）
- 受付期間 平成21年2月23日（月）～3月6日（金）
（土・日・祝祭日を除く午前9時～午後5時まで）
- 修学期間 平成21年4月～平成22年3月（1年間）



受講料 7,000円（年額）
（教材費は、受講者負担です。）

募集方法 いきいき長寿センター備え付けの願書に必要事項を記入し、印鑑押印のうえ提出。
（郵送可、3月6日消印有効）
ホームページからもダウンロード可

社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会
沖縄県いきいき長寿センター
沖縄県那覇市都立石橋町4-373-1
（沖縄県総合福祉センター 西棟3階）
TEL 098-887-1344 / FAX 098-887-1349
E-Mail ikiikichouju@okishakyo.or.jp

人材育成のポイント 職場研修にあり

「県内社会福祉施設等の
「研修」に関する調査より」

近年の社会福祉をめぐる動向はめまぐるしく変化し、福祉ニーズは今後も増大しさらに多様化・専門化することが予想されます。しかし福祉・介護サービス分野では高い離職率と相まって常態的に求人募集が行われ、一部の地域や事業所では人手不足が生じている現状です。このような中で、住民の福祉ニーズに的確に対応できる人材を安定的に確保・育成することが急務の課題となっています。

このことから、沖縄県福祉人材研修センターでは、県内の社会福祉施設等における職員等の研修形態等を把握することにより、これからの福祉人材の育成のあり方について、社会福祉研修の方向性や課題を整理し、今後の取り組み、方策を考えるうえでの材料とすることを目的に現況調査を実施しました。今回は、その中から各組織での

人材育成のポイントとなる「職場研修」の現状についてお伝えします。

1、職場研修とは？

まず初めに、「職場研修」とは何を指すのかをここで確認しておきたいと思っています。

全国社会福祉協議会発行の『福祉の「職場研修」マニュアル』によると職場研修とは、

①個々の職場（施設や事業所）が、主導的に推進する職員研修の全体を指す。

②「計画―実施―評価」の研修管理サイクルに沿って推進する。

③OJT、OFF-JT、SDSの3つの形態で実施する。

＊OJT（職務を通じての研修）とは職場の上司（先輩）が、職務を通じて、または職務と関連させながら、部下（後輩）を指導・育成する研修。

＊OFF-JT（職務を離れての研修）とは職務命令により、一定期間日常生活を離れて行う研修。職場内の集合研修と職場外研修への派遣の2つがある。

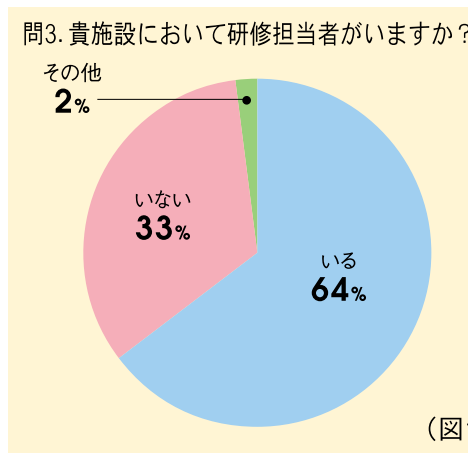
＊SDS（自己啓発援助制度）とは職員の職場内外での自主的な自己啓発活動を職場として認知し、経済的・時間的な援助や施設の提供などを行うもの。

2、県内の職場研修の現状

ここから、現況調査の結果をもとに県内福祉施設における職場研修の現状についてみていきたいと思います。

（1）研修担当職員の配置
～約6割の施設で配置～

ここである研修担当者とは、研修計画の策定や職場内研修等の企画・運営等の業務が職務分掌に位置づけられた職員を指しています。約6



割の施設が「研修担当者」を配置していると回答しています。(図1)
研修担当者の主な役割については、課長・係長等の「中間管理職」が最も多く、次いで直接処遇職員（介護員、支援員、相談員等）となっており一人の担当者のみ配置している施設と研修委員会など複数の担当者を置いている施設の割合がほぼ半数となっています。

その一方で「研修担当者を配置していない」施設の主な理由としては、「担当は決める必要に応じて管理職や職員と決めているから」等が最も多く、その他「必要だと思

うが組織的な取組みがなされていない」等といった必要性は感じて

いるものの現実的に業務分担等から担当者の配置が困難であるとの意見もみられました。

ここでは、研修担当者を「配置し

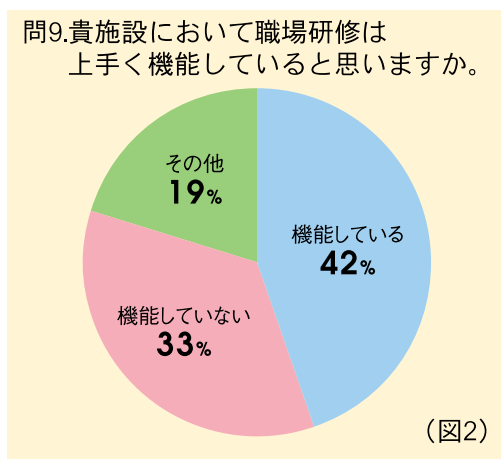
次に、各施設で「職場研修がうまく機能しているか」の質問では、約4割が「機能している」、一方で約3割が「うまく機能していない」と回答しています。(図2)

研修ノウハウの習得のみならず、普段の自分の姿を改めて振り返り、仕事に対するモチベーションの向上にもつながったという声も聞かれました。本会では、次年度も当研修を予定しており、参加者の方々のご意見も参考にしながら企画・実施を図りたいと考えています。

（4）おわりに

福祉人材の確保と育成をはかることにより利用者へのサービスの質の向上が求められるなかで、今後ますます「研修」の重要性が高まることが予想されます。

各施設で職場研修を実施するうえではその成果も一朝一夕にみえるものではなく、継続的で地道な努力が必要不可欠となります。この取組みを推進していくために、本会では次年度研修の中で職場研修への取組みの好事例を発表する場を設け、参加者全体での具体的なノウハウを共有することを予定しています。併せて実態調査の実施等から課題の把握に努め、県内施設の職場研修の充実に向けてこれからも取組んでいきたいと考えています。



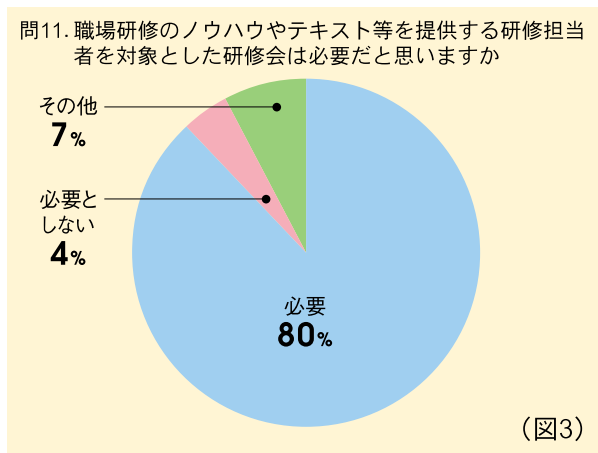
ている「施設の方が「うまく機能している」割合が高い結果となりました。その他「定期的に職場研修は開催しているが、うまく機能している」とまではいかない「や「研修実施後、それが業務にどう活かされているのかわからない」等の意見があり、職場研修を実施している施設においても様々な課題を抱えていることがみえてきました。

（3）職場研修のノウハウを学ぶ 研修会の実施を

目的を明確にしておくことが重要であるといえます。各施設において今抱えている課題や人材育成に向けてどのような職員像を求めているのかによっても職場研修への取組みは変わってくるといえます。その他にも「職場研修を進める上でネックになっていること」の質問では「研修実施のノウハウがない」「教材・テキストがない」「講師がいらない」等の物理的な課題の他に「業務に追われ時間的な余裕がない」「シフト制のため全職員の参加が困難」「予算がない」等といった、県内の福祉施設の人員や予算面における厳しい現状が浮き彫りとなりました。

ここまでで、県内施設では職場研修の必要性は感じている一方、その実施段階では様々な課題があることが分かりました。「研修担当者を対象とした研修会は必要だと思

いますか」との質問に対しては約8割の施設が「必要」であると回答しています。(図3)



本会福祉人材研修センターでは平成8年度より職場研修担当者を対象に研修会を毎年実施しており、今年度も去る9月に2日間の日程で開催しました。

この研修では、職場研修の意義や効果的な進め方等の講義をもとに、実際の研修計画の策定や自職場の研修実態診断などの演習を通じて研修担当者が具体的なノウハウを習得することを目指しています。今回の研修参加者からも「職場研修の必要性を再認識した」「この研修で得たノウハウを職場に持ち帰り実践してみたい」等といった前向きな意見が出され、具体的な



県民児協
情報誌
第29号



暮らしに福をもたらす人

沖縄県民生委員
児童委員協議会
事務所
沖縄県総合福祉センター
連絡先
TEL.(098)882-5813
FAX.(098)882-5814

新年のごあいさつ

沖縄県民生委員児童委員協議会
会長 宮国 泰雄



明けましておめでとうござい
ます。皆さまにはご家族共々ご
健勝にて、素晴らしい新春をお
迎えになられたことと心よりお
慶び申し上げます。

さて、わが国の社会福祉の分
野は、新たな制度の立ち上げや
制度の改正が進められてきまし
た。全民児連は「民生委員制度創
設90周年活動強化方策」で「広げ
よう 地域に根ざした 思いや
り」をスローガンに決定しまし
た。現在の社会状況の中で、私た
ち民生委員児童委員が何をして

行けば良いかを簡潔、明瞭に表
現しています。人の暮らしには
思いやりが大切です。家族はも
ちろん隣近所、さらには地域社
会でお互いがお互いを思いやる
気持ちを持つて共に生活してい
くことが不可欠です。こうした
思いやりが広がっていくことに
よって、孤立する人が減り、安全
で安心なまちづくりに繋がって
いくと思います。

このような中、私たち民生委
員・児童委員は「安心して住み続
けることができる地域社会づく
り」「孤立・孤独をなくす運動」「児
童虐待や犯罪被害から子どもを
守る運動」など重点的に取り組
んでいかなければなりません。
また、近年わが国においては、地
震に加えて台風などによる風水
害も多発しており、今多くの地
域住民が自然災害を被っており

ます。沖縄県においても引き続
き第2次「民生委員・児童委員発
災時一人も見逃さない運動」
を取り組んでおりますが、この
運動では、全国の民児協で要援
護者台帳を整備し、それに基づ
いた災害福祉マップを作成する
ことを目指しています。日ごろ
の見守り活動を通じて、災害時
の救助や避難などの場面で、支
援を必要とする高齢者や障害者
などの要援護者の情報を的確に
行政や消防など関係機関・団体
に繋げるにより、災害対応
において地域社会に貢献するこ
とを出発点にした取り組みです。
すでにそれぞれの地域にあった
さまざまな取り組みが進められ、
地域の要援護者の安全・安心に
繋げる活動を展開しているこ
ろです。

今後とも県内全民生委員・児
童委員が協働の精神で、組織の
充実を図りつつ、地域住民のつ
ながりを築き、誰もが住みなれ
た地域で安全・安心して自立し
た生活が送れるような社会の実
現に努力していきたいと存じま

すので、一層のご支援とご指導
をお願い申し上げ、新年のごあ
いさつと致します。

「子どもかるた」を つくって地域交流

豊見城市第2民児協

私たち豊見城市第2民児協に
おいては、本年7月に開催され
た世代間ふれあい地域交流会で
念願のとみぐすく版「子どもか
るた」をお披露目することがで
きました。

「かるた」作りのきっかけは、



県外研修における新潟県「ふく
しかるた」との出会いです。

当時、第2民児協では、子育て
サロン活動が始まっており、若
い母親達や民生委員・児童委員
の間でかるた作りの話題があが
ったものの、子育てする母親側
からの具体的な表現(文言)とな
ると、さあ大変。一向に捗らない
まま2年が経過しました。

思案に沈み、話し合いを続け
るうちに「かるた」で遊ぶのは子
どもであるから名称を「子ども
かるた」に発想を変えたところ、
案ずるが生むが易し、どんどん



と出来上がり内容は、あくまで
も豊見城にこだわりました。「健
やかで心やさしく素直な子に育
つように」と母の願いを込めた
文言にすることとし子育てサロ
ンの母親や民生委員・児童委員
から募りました。そして、主任児
童委員と、民児協役員が作成委
員となり、文言、絵札の選定に当
りました。

それこそ、「母の愛」がこもつ
たかるたです。汚れや破損を防
ぐ為、ラミネート加工をし、絵札
は厚紙で裏打ちし取り易いよう
に工夫し、市や民児協が主催す
るまつりやイベント等で活用し
老若男女みんな楽しんでおり
ます。

なお、この「かるた」は11月に
行われましたとみぐすく心身
障害者福祉まつりにおいて市
内の小学校と幼稚園に寄贈さ
れました。

私たち民児協は、「子どもかる
た」が家族や学校、地域で多くの
人に愛され、更に、今後青少年の
健全育成に寄与できることを願
っております。

「平成20年度組織間連携を 重視した防災・減災セミナー」 開催される!

12月1日(月)に開催しました
みだしのセミナーには、61単位
民児協と20社協、その他2団体
から多くの参加をいただきました。
当日は、5時間という長時間
な研修にも関わらず大変盛況に
終わりました。

今回のセミナーは、県社協(ボ
ランティア・市民活動支援セン
ター)、との共催により開催した
もので、全県規模で市町村社協
と民児協が「防災・減災」という
テーマの研修会は、全国でも例
がないようです。

特に、午後のワークショップ
では、災害発生前後の「被害状況」、



「要援護者
と支援者
の動き」、
被災地の社協
民児協の
対応」、「被
災自治体
の対応な
どについて



時系列的
に社協や
民児協(民
生委員)の
取り組みべ
き内容等につ
いてカー
ド形式で議
論しました。
多くの民児
協参加者は、

始めはグループ作業に手間取っ
ておりましたが、各グループと
も次第に熱を帯び、成果物を仕
上げていました。

本セミナーは、基本的に同一
市町村の民児協と社協が、地域
の実情を踏まえて「防災・減災」
への取り組みを促すことを目的
としていますので、民児協定例
会や社協側との研修会等におい
て取り組んでいただきますよう
よろしく願います。

すでに、セミナーの成果を踏
まえ市町村単位でセンター集
会を開催する動きが広まって
います。